



NST・褥瘡対策委員会では、褥瘡または栄養にまつわる勉強会を行っています。
5月は、がん化学療法看護認定看護師 幸坂知美さんと、緩和ケア認定看護師 本真季さんの講義でした。

「がん患者のための食と口腔ケアについて」

口腔粘膜炎の始まりから治るまで (化学療法の場合)

治療開始

1日目

- 口の中に変化なし

3~5日

- 粘膜が腫れぼったくなる
- 表面がつるつる光る

7~12日目

- 粘膜の表面が赤くなり、その粘膜の一部がはがれ、潰瘍をつくる

3~4週間目

- 粘膜は再生してもとの状態に戻る

がん治療による口腔粘膜炎パンフレット(静岡県立静岡がんセンター)

口腔粘膜炎発症時の看護師の役割

- 予防
 - 頻回な含嗽
 - アロブリノール含嗽
(5FU, TS-1, ゼローダ使用時)
 - クライオセラピー
 - 清潔
 - 保湿
- 口腔粘膜炎発症時
 - 食事の工夫
 - 鎮痛剤の使用
 - 口腔粘膜の保護



悪心・嘔吐出現時の看護師の役割

- 正しい薬物療法を行うため、医師への的確な情報提供を行う
- 精神的サポート
- 環境整備
- 食事の工夫

口腔ケアの基本ステップ

加湿

- 室内の乾燥 (加湿器など)
- 口腔内の乾燥予防 (マスク着用、氷片を含むなど)

歯磨き

- 刺激を与えない口腔ケア (口腔ケア用具の工夫)

粘膜ケア

- 刺激の強い料理 (食材) は避ける
- 口腔トラブルに応じた口腔用材の使用

保湿 (蒸発を予防)

- 唾液の分泌を促す (ガムを噛む)
- 湿潤作用のある口腔用剤の利用

次回の NST・褥瘡勉強会予定

決定次第、お知らせいたします。